

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第379回

戸田奈津子

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和6年2月26日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

英語はあくまで映画の世界に近づくための
「手段」であって、それ自体が「目的」
ではなかったです。

戸田 奈津子は、日本の映画字幕翻訳家、通訳者、映画翻訳家協会元会長、
神田外語大学客員教授・神田外語学院アカデミックアドバイザー。



Column

みなさんは海外作品の映画鑑賞は吹き替え派ですか？字幕派ですか？私は吹き替えでも字幕でも楽しめるタイプです。どちらにも魅力があり、映画字幕翻訳家のおかげでどちらでも楽しめることに感謝です。今回取り上げた言葉から、私は“学校の先生に似ているのかも”と感じました。

【〇〇高校に数学の先生（以下 A 先生）がいました。高校時代、様々な苦難にぶつかって落ち込んでいた時期がありました。そんな自分に常に寄り添ってくれた先生がいました。A 先生は性格上あまり大人を信用できないところがありましたが、その先生のおかげで何度も救われていることや苦手意識があった大人に対する気持ちが徐々に変わり、むしろ今では完全に心の支えになっていることに気づきました。やがて 3 年生になった A 先生は『自分も将来は生徒に寄り添う先生になりたい！』と、得意だった数学を活かして教員の道を目指すようになりました。現在、晴れて教員となった A 先生は生徒とのコミュニケーションを絶やすことなく当時の自分と目の前にいる生徒たちを重ねながら今日も笑顔で教壇に立ち、数学の魅力はもちろんのこと“信じられる仲間を作る”という大切さを伝え続けている。】

この話は教師として活躍中である私の先輩の話です。まさに今回の戸田氏と同じだなと思いました。正智深谷高校にもそういった“思い”を持った先生が多くいらっしゃると感じています。私は教員という立場ではありませんが部活の指導をさせていただいており、そんな先生方に追いつけるよう、未来を担う高校生に競技を通じて様々なことを伝えたいという思いや、目まぐるしく変わっていく時代の中で一緒に成長していきたいという思いがあります。みなさんの将来の夢や目標はなんですか？叶えられそうですか？諦めかけていませんか？夢や目標を叶えるためには様々な手段があります。“あの手この手”を多く手に入れるために今勉強していると思うことができれば今まで以上に意識も高まるのではないのでしょうか。みなさんの“思い”に期待しています！